

JA自己改革ニュース



所得増大編
No.18
2020.12.18

栃木県

JAはが野 いちご部会

生産

販売



農業者の
所得増大

パッケージセンターの実施やスケールメリットを活かした直販事業などで、**所得17%アップ**

JAはが野（真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町）は、**生産拡大**に向けたパッケージセンター設置による農家の負担軽減、**販売拡大**に向けたスケールメリットを活かした直販事業の拡大など、さまざまな取り組みを実践しています。

その結果、いちご部会員における1戸当たりの所得は、2019年度には605万円となり、2016年度に比べ88万円、**17.1%の増加を実現**しました。

【JAの具体的取り組みと成果】

生産拡大に向けては、園芸農家（いちご、なす、アスパラガス、たまねぎ、にんじん等）の荷造り調製作業時間の軽減により、生産規模拡大を図ることを目的に、JA管内4か所にパッケージセンターを設置し、**青果物の選別・包装・出荷までを担うことで、農家の出荷調製作業の負担軽減**に取り組みました。

その結果、いちごの10a当たりの生産量は、2016年度の4,633kgから2019年度は5,037kgに増加しました。

販売拡大に向けては、JA内に販売営業グループを設置（7名体制）し、首都圏の量販店で「はが野ブランド」をPRする「**はが野フェア**」の開催や、JAのパッケージセンターを中心に特殊規格の提案や活用を実施するなど、**スケールメリットを活かした直販事業の拡大**に取り組みました。

その結果、1kg当たりの販売単価は、2016年度の1,090円から、2019年度は1,192円になったほか、1戸当たりの販売額は、2016年度の1,557万円から、2019年度は1,839万円になりました。

これらの取り組みにより、2016年度から2019年度にかけて、いちご部会員1戸当たり**17.1%の所得増大を実現**しました。

いちごの
10a当たりの生産量

2016年度

4,633kg

8.7%
増

2019年度

5,037kg

いちごの
1kg当たりの販売単価

2016年度

1,090円

9.4%
増

2019年度

1,192円

いちご部会員1戸当たり
農業所得※

2016年度

516.9万円

17.1%
増

2019年度

605.3万円

※販売実績額と栃木県農政部作成資料よりJA栃木県中央会で試算



（パッケージセンターの様子）

JAグループのホームページから、自己改革の成果をまとめた動画や全国のJAの取り組みがご覧になれます。

<https://org.ja-group.jp/challenge/>

発行/ JA全中（一般社団法人 全国農業協同組合中央会）



JAグループ

耕そう、大地と地域の未来。